

経営比較分析表（令和2年度決算）

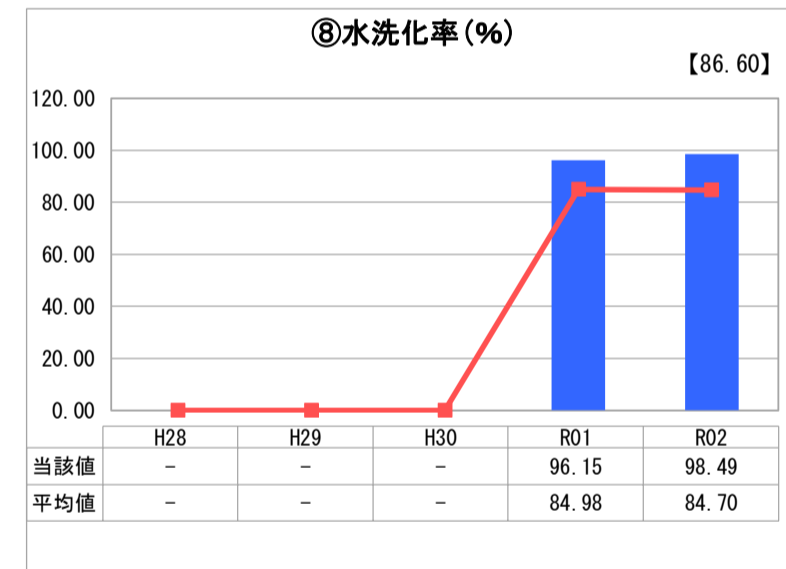
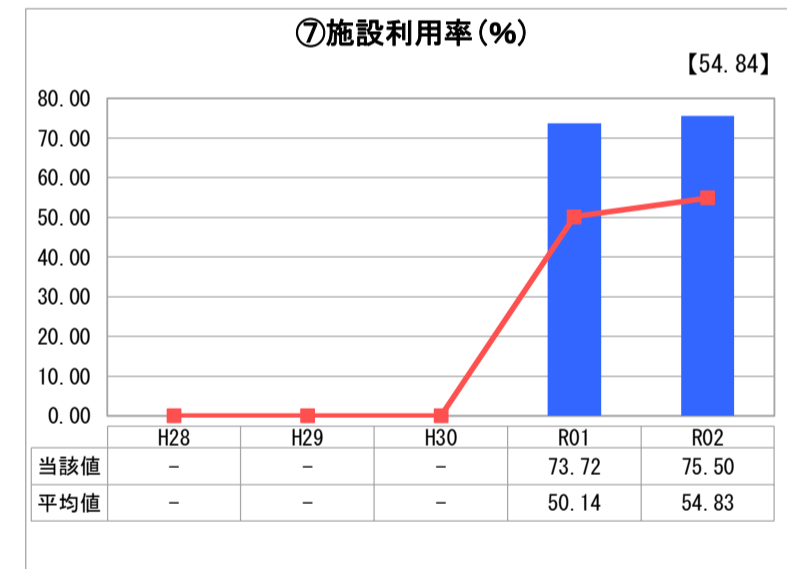
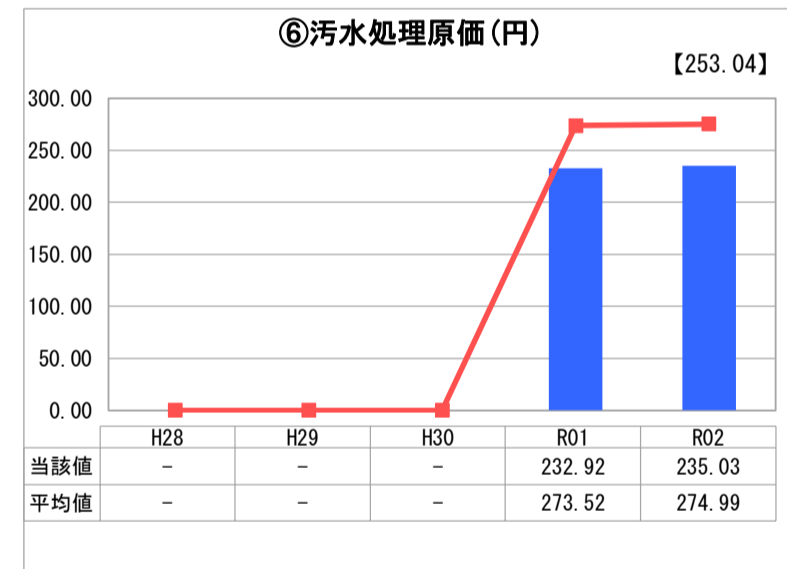
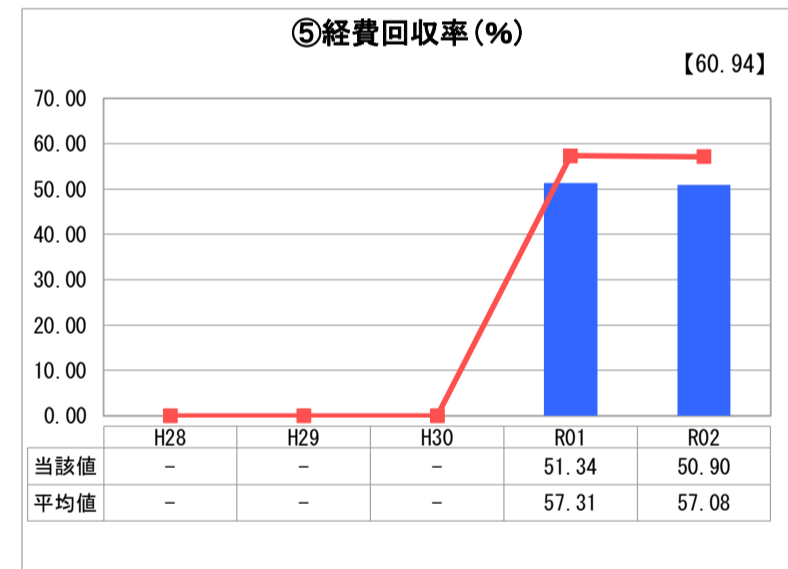
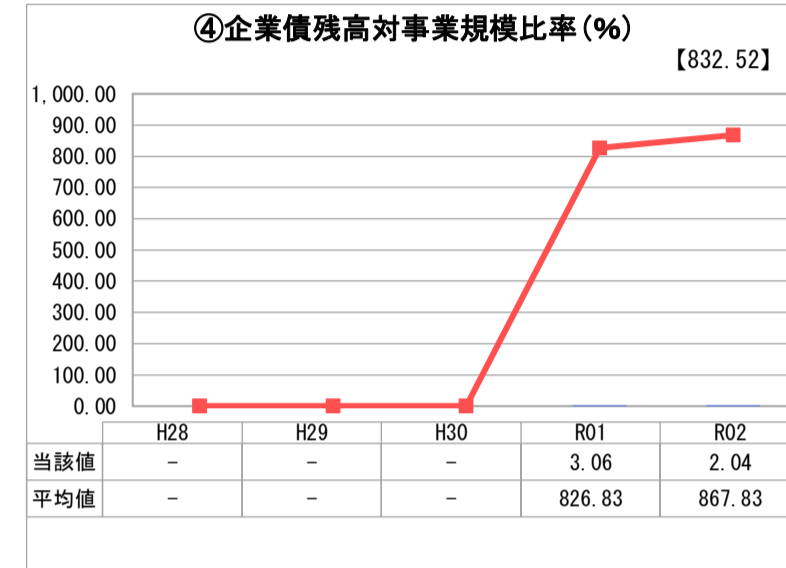
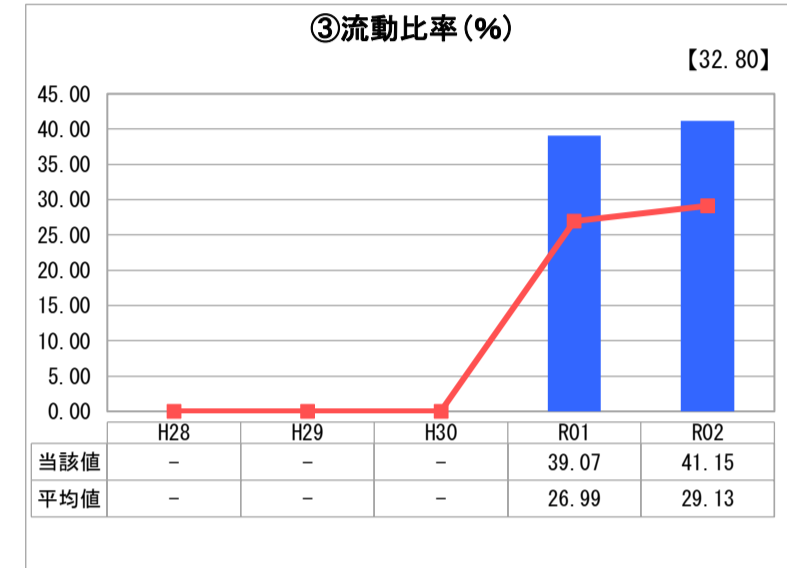
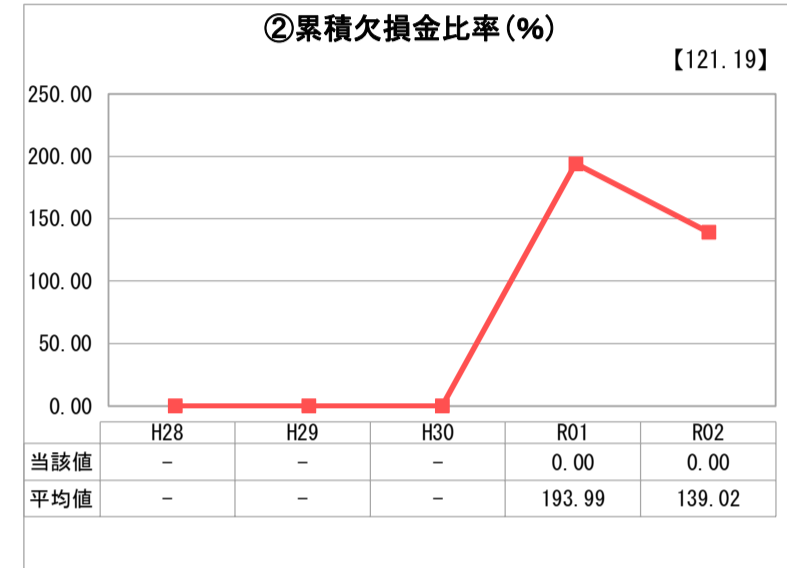
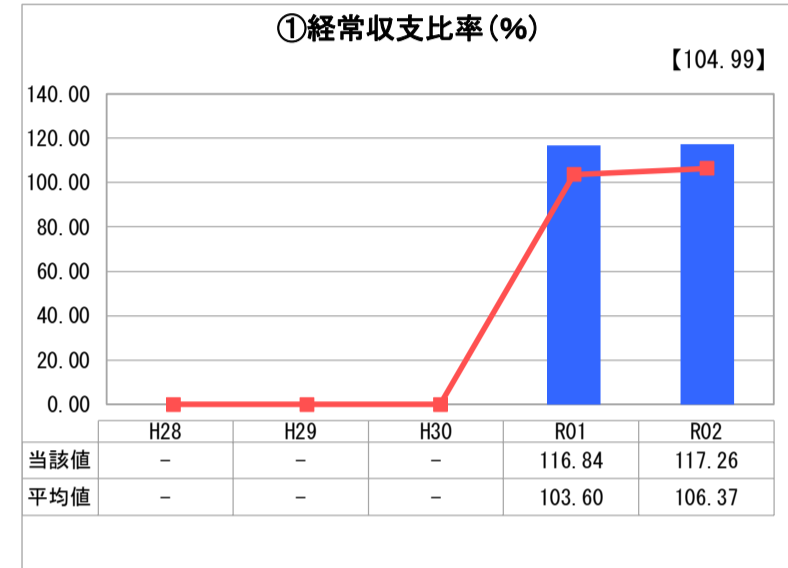
栃木県 下野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	79.48	10.88	72.33	2,530

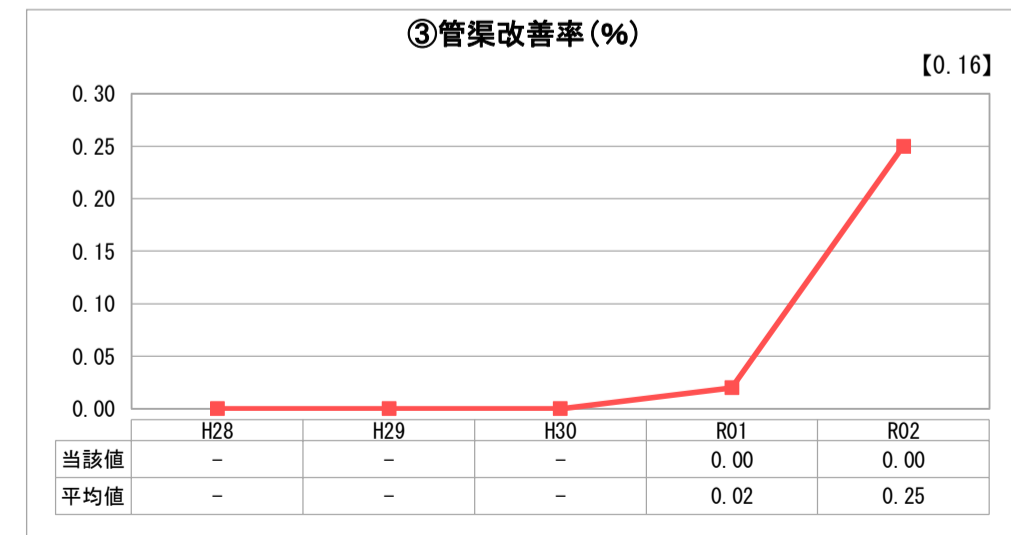
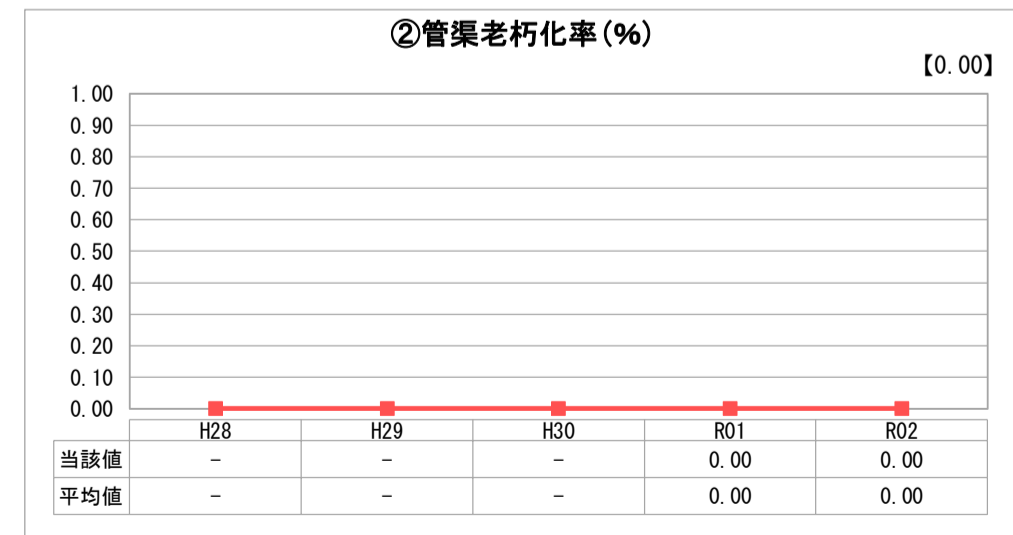
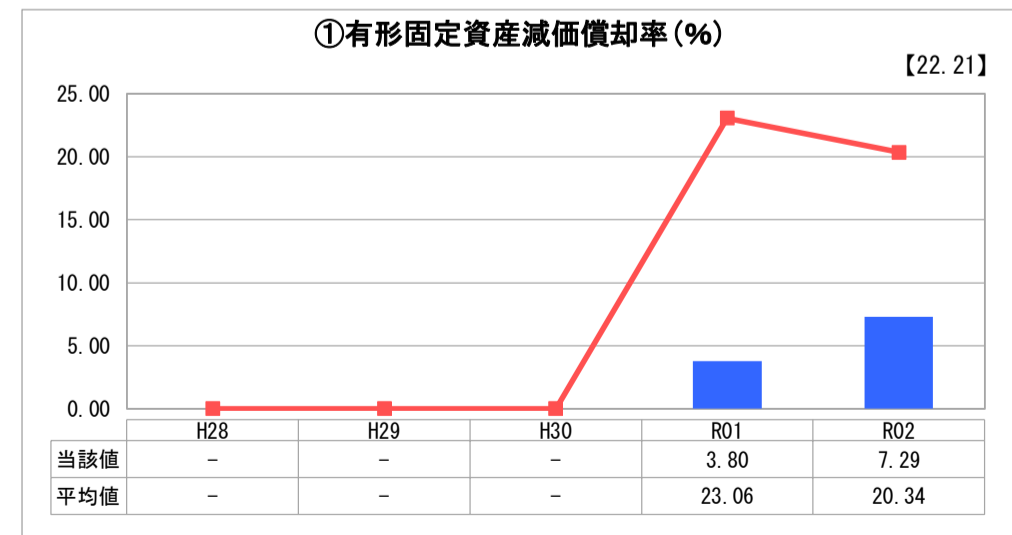
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
60,163	74.59	806.58
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,536	3.80	1,720.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
経常収支比率は117.26%となり、類似団体平均を上回り、健全な状態にある。
しかし、繰入金に依存した収入構造となっているため料金収入等の確保に努める必要がある。
- ② 流動比率
流動比率は、前年度を2%上回ったものの、41.15%と依然低く、次年度支払う償還金等を賄う現金が準備できていない状況にあります。
- ③ 企業債残高対事業規模比率
類似団体平均値を大きく下回り、減少傾向で推移している。既に整備が完了し維持管理が主となっているため、企業債残高は今後も減少傾向で推移する見込みである。
- ④ 経費回収率
類似団体平均値を6.18ポイント下回り、50.90%となっている。引き続き料金収入の確保と汚水処理費の削減に努める必要がある。
- ⑤ 汚水処理原価
汚水処理減価は235.03円である。類似団体平均値を下回っているが、汚水処理費の削減と有収水量の増加に努める必要がある。
- ⑥ 施設利用率
施設利用率は75.5%で、類似団体平均値54.83%に比べ高い利用率になっている。
- ⑦ 水洗化率
水洗化率は98.49%で、類似団体平均値84.70%に比べ高い率となっている。

2. 老朽化の状況について

H4年度から供用開始しており、現在までのところ更新・修繕等を要する箇所はみられない。

全体総括

類似団体に比べ汚水処理原価は低いものの、経費回収率は平均をやや下回る50.90%で低い水準にある。汚水処理経費の財源は一般会計からの繰入金の割合が高く、水洗化率の向上を図り有収水量の増加及び経費節減に努める必要がある。
今後は、もっとも経費のかかる処理場費を削減するため、段階的に公共下水道への編入を行っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。